

ケニアの大人から子どもたちへ

大人になる・赤ちゃんが生まれることの

保健のおはなし

～早期妊娠予防研修の進め方ノートから～



Nonprofit Organization **Community Action Development Organisation**

特定非営利活動法人 アフリカ地域開発市民の会 (CanDo)

アフリカ地域開発市民の会（CanDo）は、女兒の妊娠が問題となっている小学校において、早期妊娠を予防する取り組みを 2010 年から行なっています*。専門家とスタッフが訪問し、教員と保護者への研修の後、子どもたちに話をするという流れです。「教師と親たちの役割」をまとめたノートから、子どもたちに話す内容を初めにあげます。

* 2010 年 6 月、ケニア共和国東部州ムイソウ郡の教育局長が協力を要請。

10 歳* から 19 歳の子どもたちへ

今は子どもから大人になっていくときで、男の子も女の子も、体と気持ちにさまざまな変化があります。

* 小学校には 6 歳で入学して、14 歳に 8 年生で卒業する制度になっていますが、高学年には 18 歳前後の「子ども」が在籍することも珍しくありません（2003 年からの初等無償義務教育他の理由から）。

● 体の変化

女の子は—

- ・ 体重が増え、身長が伸びます。
- ・ お尻が大きくなります。
- ・ わきの下などに毛が生えてきます。
- ・ 生理が始まります。
- ・ にきびが顔にできてきます。
- ・ 胸がふくらんで、大きくなっていきます。

男の子は—

- ・ 体重が増え、身長が伸びます。

- ・ 肩と胸が広がります。
- ・ ひげが生えてきます。
- ・ 胸やわきの下などに毛が生えてきます。
- ・ にきびが顔にできてきます。
- ・ 声が低くなってきて、のどぼとけが大きくなります。

● 気持ちの変化—男の子も女の子も同じ

体の変化が気持ちにも関係しています。

- ・ 女の子は大きくなっていく胸がはずかしくなり、隠したりします。男の子も低い声がはずかしくなります。
- ・ 女の子は生理がくると困ります。
- ・ 自分の体が大きくて、あるいは小さくて不幸だ、と思う女の子や男の子がいます。
- ・ 男の子も女の子も、見た目のこと、とくに顔のにきびで悩みます。
- ・ 女の子は、生理が始まるのが遅かったり、胸が小さいままだったりすることに悩みます。
- ・ ホルモンが影響して、周りの人たちを嫌いになったり、喜んだり、怒ったり、こわがったり、大好きになる、といった気持ちが、強くなることがあります。

気持ちをおさえて、毎日の生活をよりよくしていくための能力*には3つの伸ばし方があります。

A) 自分自身と生きる能力を伸ばすには—

- ・自分を知ること。
- ・自分を大切にすること。
- ・気持ちをおさえること。
- ・ストレスをおさえること（ほかの人を知ること）。

B) ほかの人たちと生きる*能力を伸ばすには—

- ・相手の気持ちを理解すること（ほかの人たちの物の見方、考え方を感ずること）。
- ・効果のあるコミュニケーションをとること。
- ・仲間の集団からの圧力との対処を学んでいくこと。
- ・相手とぶつかったときの解決の仕方を学んでいくこと。
- ・自分を主張すること。

C) 効果のある判断ができる能力をのばすには—

- ・批判的に考えること。
- ・問題を解決すること。

* lifeskill = 「個人が日々の要求や挑戦を効果的に対処できるようにする、適応的で前向きな行動のための能力」とWHO(世界保健機構)が定義。

* 多くの民族グループが住むケニアでは、2007 年末の総選挙後のような暴力が再び起こらないようにするために、この能力の大切さが認識されています。2010 年、小学校でライフスキル教育が独立科目になりました。

- ・創造的に考えること。
- ・自分を主張すること。

大人になること、赤ちゃんが生まれることについて
保健に必要なこと

子どもたちから子どもたちへ—

子どもたちが期待されること

- ・ほかの子どもたちへ、よい行ないをすすめること。
- ・仲間の集団からの圧力—友達としてその問題に積極的に取り組んでいくこと。
- ・仲間同士での学び合い—体と気持ちがのびのびできるよ
うな行ないについて、積極的に知らせ合うこと。
- ・困らせたり、いじわるしたり、けんかをしたりしないよ
うに、お互いを大切にすること。
- ・セックスは大人になるまでしないこと。

ケニアの大人たちの役割

「性と生殖に関する健康」*では、子どもの成長過程における思春期—10歳～19歳—は重要な意味があります。親と教師は、子どもたちの変化を予期し、健康に発達するように導いていなくてはなりません。

性と生殖に関する健康の社会的な面で必要なこと

教師から子どもたちへ—教師が期待されること

- ・子どもたちに自分を大切にさせること。
- ・積極的に子どもたちが言いたいことを聞いて助力を。
- ・子どもたちに影響を与える助力と指導を。
- ・子どもたちの話をきくような時間はない、という印象を与える態度はとらないこと。
- ・他人への嫌悪を見せる、セクシャル・ハラスメントや性交渉といった、子どもたちに悪印象を与える行動はとらないこと。

親から子どもたちへ—親が期待されること

- ・十分な指導と世話を。

* reproductive health
1994年、国連人口開発会議から用いられた用語。

・子どもたちを、しあわせで、愛されていて、こわいこと
はないようにすること。

・励まし、話を聞き、理解していることを見せ、一緒にいる時間をとって、子どもたちが自分を大切に
する思いを育てるようにすること。

・子どもたちに自分自身について、そして尊重すること、素直になること、感情を抑えること
の大切さについて、理解させること。

教師と親たち—教師と親たちが期待されること

- ・適切な行動がとれるよう子どもたちの話を聞くこと。
- ・協力して子どもたちの成長を見ていくこと。
- ・子どもたちにおける性と生殖に関する健康について、共通の理解をもって教え、混乱させないこと。
- ・子どもたちが性交渉による結果について共通の理解をもつこと（例えば、性感染症や HIV/エイズの感染、幼いお父さん、お母さんになること、妊娠中絶とその影響）。
- ・妊娠がわかった場合、相手の男性への補償金*の請求、妊娠中絶、早期の結婚は思いとどまらせること。
- ・妊娠中の女の子の指導と助言には、特に配慮が必要。

* 親たちは補償金と結婚への関心が非常に高く、そのため子どもの性交渉に寛容で、予防の意識を低める傾向があります。

HIV/エイズ、性感染症、妊娠の科学的知識*

身体と感情の変化で、男の子は女の子に、女の子は男の子にひかれるようになります。HIV/エイズ、性感染症、早期妊娠につながる性交渉の可能性も含まれ、また、薬物濫用にはしる子どもたちもいます。

HIV/エイズ*

◆感染経路： 感染した人の体液と直に接触すること—血液、母乳、精液、膣分泌液（涙、汗、尿、だ液では感染しません）。非感染者の粘膜、傷口からウイルスが侵入。

・血液の接触—刃物の共有、同一のくだものなどをかむこと、大小の事故での手助け。

・母親から子どもに—胎内、出産時、母乳を与えること。

・性交渉—膣分泌液や精液との接触。

◆予防

性交渉が中心になりますが、他の経路についても必要。

・節制すること*（大人になるまでは、しないこと）。

・コンドーム*の使用—使い方のデモンストレーション（男性用のみ）、正しい使い方と誤った使い方（表と裏、2個重ねて使用、先端の空気を抜かないで使用）。

性感染症 —略—

* 子どもたちには、この部分は表現を変えて話します。

* 1999年にエイズ国家災害宣言が出され、さまざまな取り組みが行なわれ、2003年には、小学校でエイズをすべての教科で扱うようになりました。

* 大人にも「abstain=節制」を強調するキリスト教では、コンドームについて誤った言説が流布していました。

妊娠

◆定義： 妊娠とは、男性の精子が女性の卵子と結びつき、母親の胎内で赤ちゃんが育っていく過程—通常は、9か月間—をさします。

◆兆候

・生理が止まります。

・つわりで、朝に吐いたりすることが、3か月続きます。

・尿が近くなります。

・胸が大きくなります。

・腹部が大きくなります。

◆早期妊娠の危険性

子どもたち—特に17歳以下は—体がまだ成長しているところなので、妊娠において、より問題がおこります。

・分娩—十分に成長していない小さい骨盤なので、出産時に適切に広がらないことがあります。また、陣痛から12時間以上、と分娩の時間が長くなると障害となります。

・会陰裂傷—赤ちゃんの頭が通るときの裂傷。

・産科ろう孔（フィスチュラ）—長時間の分娩で赤ちゃんによる圧迫で、直腸や膀胱などと膣とに孔（穴）があくことがあります。

・けいれん—妊娠による高血圧からか、特に若い女性の初産では、けいれんが起こることがあります。手足と顔の汗、頭痛、もろろとする、といった兆候があります。適切な処置をしないと、母子ともに生命をおびやかせるけいれんに至るので、注意が必要です。

・奇形—若い女の子の卵子は成熟していないので、赤ちゃんが奇形児となることがあります。

◆予防と処置

妊婦は検査のために診療所に行くようにすること。何か合併症がある場合は、できるだけひんぱんに通院すること。

Abortion = 流産・中絶

◆ケニアにおける定義： 妊娠して 28 週前に分娩が終了すること。

◆Abortion の 2 つのタイプ—流産／中絶

◆流産、中絶の合併症—出血／死に至るショック／敗血症／内部の傷（子宮、子宮頸、膣、ぼうこう、腸）→死、重い後遺症、不妊の原因となります。

妊娠を予防するには—

- ・ 節制
- ・ コンドームの適切な使用
- ・ 薬物使用とアルコールを避けること

大人による性的なかかわり

子どもたちは、大人たちの性的なかかわりに向かわされています—だまされて／暴力で／おどされて／強制されて／レイプされて／大人がする性的な冗談や作り話、また思い違いも問題です。

この冊子は

“Workshop for Role of Teachers and Parents in Child Health Development” (As of June 2012)

©CanDo-Community Action Development Organisation

をもとに、まとめています。

作成の中心になったケニア人専門家—一定年退職した県の医療専門家や教育官などが小学校で教えています。

1 日目は教員、2 日目は保護者への研修、そして 3 日目に子どもたちへのトークを行なっています。



- ◆ (特活) アフリカ地域開発市民の会 (CanDo) は 1998 年からケニア共和国東部州において、教育・保健・環境の分野で住民参加型の社会開発協力活動を行なっている NGO です。
- ◆ 2011 年、最初の活動地、ムインギ東県で終了に向けての移行期間に入り、そこでの活動を効果的に組み合わせて、ミグワニ県での展開を始めました。
- ◆ 現在、住民参加による小学校の教室建設、学校での環境活動、学校保健—エイズ教育と早期妊娠予防、幼稚園での保健活動—、そして地域での保健—基礎保健研修、住民を対象とした学習会—に取り組んでいます。

ケニアの大人から子どもたちへ 保健のおはなし 2012 年 10 月 6 日 第 1 版発行

特定非営利活動法人 アフリカ地域開発市民の会 (CanDo)

〒110-0001 東京都台東区谷中 2-9-14 第 2 森川ビル B 号

TEL: 03-3822-1041 / E-mail: tokyo@cando.or.jp / www.cando.or.jp